

原発いらん!

山口ネットワーク

2023年2月の報告

小学校にケム編集
のマトの苗がただで
配られる。これは童話ど
は無い。悪たくみのはいまり
かむ

号416号

次の集り

2023年3月12日(日) 13時30分

周南市役所シビック交流室 6

3月10日(金) 祝島島民の会の裁判

山口地裁 山石国支部で。↓住所と電話はP5に

10:00 ~ 10:10 整理券配布 (正面に向って左側入口)

10:10 の締切後、直ちに傍聴抽選、当選者発表。

10:30 裁判開始。

11:00 裁判終了。(予定)

↓住所と電話番号はP5に
市民文化会館に移動・昼食(各自)

13:00 報告集会開始

14:30 報告集会終了(予定)

○主なことは以上ですが、

9:40 ~ 9:50 横断幕を持って入場行進、報道への
アピールを行う。可能な方は参加を。

○岩国支部の駐車場には限りがありますので、なるべく
乗り合わせて来てください。駐車できない場合は、錦川の川原の
駐車場になります。(徒歩15分程度)

○報告集会のある市民文化会館は、山石国支部
役所の隣です。駐車場は市役所の駐車場
(有料)をご利用して下さい。

市役所には食堂もあり、(混むかも知れませんが)

代表者 小中進
〒742-1513 山口県熊毛郡
田布施町麻郷2208
Tel. Fax. 0820-55-6291
振込口座(年会費2000円)
(郵)01590-5-27469
口座名「原発いらん/山口ネットワ-ク」
作製・印刷・発送
国防難の自然を守る会
三浦翠介

祝島の裁判を
傍聴にいこう!
応援しよう!



○裁判所内での行動についてはいろいろ決りがあるので、取
組の指示に従ってください。

祝島島民の会へのカンパをお願いいたします。

☆カンパ振込先は、上関原発を建てさせない祝島島民の会

郵便振替の場合 座名義—祝島島民の会
 座番号—01390-4-67782
ゆうちょ銀行振り込み 座名義—祝島島民の会
店名 —「一三九」
 座番号—当座 0067782

「41年間、この海を舟り続けて下さった祝島の皆さんをカンパで支えよう!」

3月11日(土) 14:30 (裁判の翌日です。)

中国電力上関事務所前 ↓住所と電話番号はP5に。
「さようなら上関原発。私たちは福島を忘れ
ない」黙祷&トーク集会。

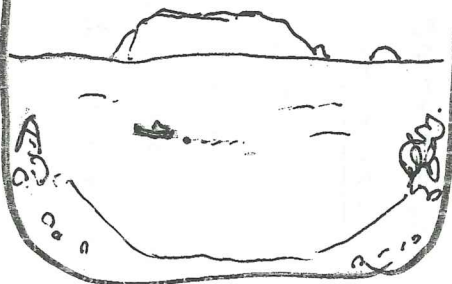
田の浦ピクニック

みびーテクリーン

今回は5月です。

(日程は未定)

おたのしみ!



3月18日(土)9時開場〜14時

上関原発を建てさせない山口大集会

- 是非ご参考を！
- 10月100円の賛同金もよろしく、

2/4祝島島民の会の裁判を支援する会結成
総会のこと。

光市島田コミュニティセンターで開催された会には100人が集まり、会場は満杯になり、熱気にあふれた。

2022年10月25日、中電は、祝島漁民の漁業権には触れず、政府の原発推進方針に勢いづく。祝島島民の会を提訴した。中電のボーリング調査を妨害したとして、その裁判が3月10日、山口地裁岩国支部で本格的に始まる。

提訴の穴倉たか子さんが同会をその中、中村寛弁護士が中電の訴状を論破。小中進(原康司、アーサー・ビナード)の3人を共同代表に選んだ。

・祝島島民の会、代表の清水敏保さんより

「今日は島から7人が来ました。温かいご支援をありがとうございます。子供からの預り物もある海を売らないのは祝島の誇りです。豊か海のおかげで祝島は41年間、原発反対運動を続けて来ることができました。

しかし、当時100人いた島民は今300人。4人に3人は高齢者になりました。これまで反対運動が続けられてきたのは全国の皆さんからのご支援とカンパの力が非常に大きいのです。

皆さんの支援がほしいと戦えないのをごどうかよろしくお願ひします。原発がなくとも上関町は元々いい場所です。」

・原発いらない山口ネットワー、代表の小中進さんより

「これだけ多くの人が集まってくれたのは強く思っています。私が初めて祝島に行った時清水さんはまだ20代の若者でした。わたしも若者になりましたが、この美しい海と安心安全な環境を壊すまいと決めた。これからは頑張りたいと思います。」

・カヤック隊の隊長であり、3月18日大集会の事務局長でもある原一康司さんは、

「僕が初めて祝島の島に参したのは2005年30歳の時でした。今、50歳です。2009年から中電が地立作業を強行しようとして祝島を訴えた裁判は、6回、そのすべてに僕の名義も入っています。今回初めて僕の名義が、

入っていない裁判です。

裁判は逆にチャンスだと思えます。補償金を受取つていない祝島の人たちに対して中電がいかにおかしなことをやっているか世界中の人に知らせるチャンスです。祝島の人たちを全力で支援していきます。」

・京都からZoomで参加した詩人、作家のアーサー・ビナードさんは、

「原子力を使おうとしているのは国際的な大きな力。彼らは物凄く工夫して戦略を練っている。僕たちはそれに振り回されず、こちらで戦略を考えながらやりやすく、面白く、彼らに対向して行こう。祝島島民はとも建設的なたたかいはしこまている。これからはやっつけよう。」

・このあと、会の事務局を務める岡南法律事務所の内山さんより3月10日の実演才一回目となる山口地裁岩国支部での裁判に多くの人が傍聴に駆け付けようという呼びかけがあり、10月100円の会費(内100円)で会費を募ること、会費規約などを採決して2時間後の総会を終えた。

- 規約です。↓↓P⑤
- 新聞記事です。←

中国電「祝島島民の会」提訴 支援する会 結成総会

上関町で原発建設計画をすすめる中国電力(広島市)が建設予定地の海上ボーリング調査を巡り、計画に反対する「上関原発を建



約100人が出席した「祝島島民の会の裁判を支援する会」結成総会

市の島田コミュニティセンターで開かれた。総会には、島民の会

の清水敏保代表ら約100人が出席。清水代表は「島民は豊かな海で魚を取って生活しているだけ。島は人口が減少し、高齢化も進んでいる。中国電との裁判は何回目になるかわからないほどだ。皆さんの支援を受け裁判を闘っていきたい」と感謝の言葉を述べた。総会では、リモート出席した詩人のアーサー・ビナードさんを共同代表に選出し、口頭弁論を傍聴したり、学習会を開いたりして、島民の主張を広げていくことを申し合わせた。また、意見交

【大山典男】

● 例会の報告(2月12日)

● 参加地域 東広島、田布施、老、下松、周南、宇部。

① 小中代表より、今日はいくお天気に恵まれ、暖かい日になりました。東広島から、宇部からと本当に遠いところからいらして下さつてありがとうございます。

これから統一地方選があり、裁判もあり、毎週末にこちら走りまわっています。

上関(原発)ストップの世論をもうあげたいと、街頭車であちこち行っています。

今日、話題にしたいことがある。どんく司会の方に申し出て下さい。

② 2月4日、光市の島田コミュニティセンターで「祝島島民の会の裁判を支援する会の設立総会」がありました。会場いっぱい約100人の参加で、関心の高さを実感しました。

私(小中進)と原康司さん、アーサービナートさんの3人が共同代表になりました。

多くの方にこの会の会費になつてもらつて又々感謝したいと思います。

小中進のホームページにこの事をのせたり70件の申し込みがありました。会では振込口座をつくり中です。

● 一口500円、何口かおなごいるが、500円を郵便局で振込んだら26日振込料がかかる。更に受取った側には振込通知料110円かかる。それならなるべく金は手渡しで受取るようにしている。

● 祝島から岩国支部までまられるにはかなりお金がかかるし、弁護士費用も祝島島民の会から出るのど、祝島島民の会へのカンパを呼びかけよう。

● 今回は私達が祝島島民の会を直接応援するチャンスなのでやりがいを感じている。会員をどんく広げていきたい。

● 実質一回目となる裁判は3月10日10時から、30分以前に傍聴席の受付が始まる。朝早くけど、みんなが傍聴に行こう。

③ 2月1日、田の浦ピクニックとビーチクリーン」のこと。

大人5人、子供1人の参加。もえるゴミ袋、不燃ゴミ1袋。写真です。↓P⑥

私たちが着いた時にはもう広島島からWさんが一人で浜にテントを運んでくれたことに感激。

とても暖い日、波はあつたけど冬は全く感じなかった。

原さんが、自家菜園でくれたさつま芋をもつて来て、砂に穴を掘って流木を燃らし、そのオキをやさいもを作った。

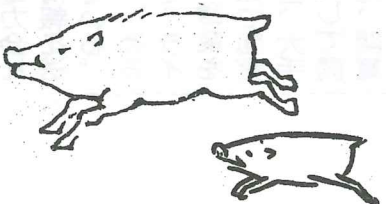
おいしかった。

冬の田の浦でおしゃべりしながらゆよいもる会食べるという希有な1時間だった。

浜には海草がいっぱい打ちあげられていた。

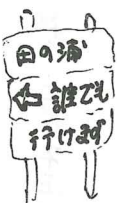
それはその海に豊かさは海軍があるというあのしほのどいへです。

帰り道イノシシに2度会った。イノシシも車に会っても慌てたそぶりもない。



③

それにしても中電の看板は憎らしい。私たちが「田の浦はこちう、誰でも行けまう」という看板を立てたい。何のいへずあはなにか。



④ 上関町長が経産省へ行った。2月6日に。

西村経産大臣は、上関は「国の重要電源開発地点としての位置付けに変わりはない」とし、「さまざま形態で対応したい」と述べた。(笑) (笑) (笑) (笑) (笑)

西村経産大臣は、上関に原発を建てた吹田見国会議員の娘婿。だから田布施に土地を持している。

⑤ 2月11日、宇部市で林重晴雄さんの講演会をした。8人の参加があった。

この10年間、上関(原発)にかゝった人が皆んな出て来た。岸田内閣のGXには皆がどれたけ危機感を抱えているかということ。

本森重吉は早稲部市の出身。三菱重工でずっと原発を造って来た人。福島第一原発は強度が0.03しかない。本当は0.3なければいけないのに。

福島第一原発の原子炉が傾いて来ている。アメリカコンクリートを溶かして鉄骨がむき出しに。もし、これが倒れたら放射能は周囲にまごむがり、世界的な大災害になる。

三菱重工がジェット機も造れなかったように、今の日本に原発のメンテナンスをする技術はない。

また、今の福島県は人が住めるような状況ではない。セシウム、ポルトニウムがそこら中にある状況。

(福島には、事故以後「原子力非常事態宣言」が出されて、人が住める線量と通常のノリノリベルトから20ミリシーベルトに引き上げている。20ミリシーベルトは原発内労働者の年間ヒバク限度と同レベル) ⑤にフック。

⑥ 統一地方選について。

ネットワークが5人の候補を推薦した下関市議選へ立候補に行きました。

小中さんの街宣車でいっしょに下関に行ったMさんは、「原発に明確に反対の候補を選んど下さい」と演説する小中さんの横ご旗を持って立っているのは、どこもいへ気分だった。私もいへ仕事をしているなあという気分になった。小中さんの主張がはるかに上回っていること。40年間のたごいの横上げと、棄天性がすばらしい。

下関の人達は毎週金曜日に市役所前で上関原発反対行動を！ せいりっしやてすこいねと思えました。

下関市議選では推薦した5人のうち4人が当選されました。

2/8にネットワークが推薦した「原まさ子さんの選挙パンフをまさ子さんという名に平生町にポストアップしました。(おま)

● 上関原発の周辺がすべて無投票にはりそうなのが情ない。

- 大島郡大島町 1400人 定数1
- 上関、田布施、平生 28000人 定数1
- 柳井市 3000人 定数1
- 光市 49000人 定数2
- 下松市 55000人 定数2

これら5区が今のところすべて無投票になりそう。上関原発がつくられようかという時にこんな事ではないのか。若々として行動を示そう。

⑦ 上里康子さんより。

山口県が埋立許可の口実にしてるのほ「上関原発は運転を開始したその日まで重要電源南発電地点に指定」というエネ庁の文書。

しかし、原子炉をつくるには原子力規制庁の許可が必要という法律がある。

上関原発計画は現在規制庁に対して原子炉設置許可申請していない。それなのに、上関原発はつりここのようは文書がそのまゝ残って活用されるのはおかしい。エネ庁はその事をどう考えているのか、今、福島みずほ事務所を通じて質問しています。

⑧ 新聞記事から...

「電力自由化」を骨抜きにする電力会社の2つの不正。
1. 中国電力を含む4社がカルテル
2. 不正閲覧

公平な競争損なう恐れ

不正閲覧が問題となるのは、公平な競争がなくなるおそれがあるからだ。

電力事業は大手10社が地域ごとに独占していたが、2016年の完全自由化によって、新電力が家庭向けも含めた電気の販売に参入した。大手電力の送配電部門は、販売や発電など他の部門から切り離すことが義務づけられ、沖縄電力以外は子会社としている。

送配電設備は新電力会社も使うため、顧客情報を送配電子会社に伝えている。この情報を親会社である大手電力会社が見て、ライバル会社の顧客に営業をかけないよう、法律で閲覧を禁じている。今回、大手6社はこれに違反して閲覧していた。さらに、閲覧は営業活動にも使っていた。

電力各社は「過失」を強調するが、規模を含め判明

していない点も多い。前電力・ガス取引監視等委員長の八田達夫・アジア成長研究所理事長は、今回の不正閲覧について「日本では、大手電力と送配電部門を他の部門との間で『送配電分離』した。その前提である部門間の情報遮断ができなかった以上、今後は部門間の人事交流を禁じ、違反には送配電部門を売却せざるを得ない規模の罰金を科す必要がある」と指摘する。(宮川純一、吉田貴司、池田良)

中口電力へ申し入れに行くたびに、大威張りで「我々はコンプライアンスを重視して」と言ってくるけれど...
嘘つきめ! 「コンプライアンス」=法令遵守=法律を守ること。

④ 初回二つの不正

家庭や企業に大幅値上げをお願いする立場に追い込まれた電力業界だが、その裏では利用者をないがしろにする二つの不正が行われていたことが明らかになり、大揺れとなっている。まず、今回値上げを申請した中国電力を含む4社が、事業者向けの電力販売で、営業を控えて価格維持を図ったカルテル問題が浮上。「お互いの顧客はそっとしておきましょう」(大手電力幹部)などと顧客獲得を制限した独禁法違反の疑いが持たれ、信頼が根本から揺らいだ。

祝島島民の会の裁判を支援する会規約

- 第1条 (名称)
 本会の名称を「祝島島民の会の裁判を支援する会」とする。
- 第2条 (事務所)
 この会の事務所は、周南市弥生町3丁目2番地(周南法律事務所)におく。
- 第3条 (目的)
 本会は、「上関原発を建てさせない祝島島民の会」(以下「島民の会」という)と中国電力株式会社との裁判において、「島民の会」を支援し、もって裁判の勝利を勝ち取ることを目的とする。
- 第4条 (活動内容)
 本会は、前条の目的を達成するために以下の活動を行う。
 (1) 「島民の会」と中国電力株式会社との裁判の傍聴及び傍聴の呼びかけ
 (2) 「島民の会」と中国電力株式会社との裁判の経緯、裁判の内容及び裁判の進行状況などについて、広く人々に知らせる活動
 (3) 「島民の会」と中国電力株式会社との裁判を支援する会の会員ならびに応援者を拡大するための活動
 (4) 前条の目的を達成するために必要な募金活動や学習会の開催など、その他必要となるあらゆる活動
- 第5条 (会員)
 (1) 本会の目的、活動内容に賛同して入会の意思表示をした個人、団体を会員とする。
 (2) 本会の会員は、個人1口500円を1口以上、団体1口1000円を3口以上の会費を、毎年度支払う。 **※振込口座の開設に時間がかかっています。次号でお知らせできると幸いですのでお待ち下さい。**
- 第6条 (代表)
 本会に共同代表若干名をおき、総会で選出する。
- 第7条 (事務局)
 本会に若干名で構成する事務局をおき、共同代表を補佐し、会の活動を支える。なお、事務局内に1名以上の会計をおく。
- 第8条 (監査)
 本会に会計監査をおく。
- 第9条 (総会)
 (1) 会員(個人会員及び団体を代表する者1名)による総会は、原則として年1回開催する。
 (2) 総会は、経過報告・会計報告を行い、活動方針・予算、その他重要な事項の決定を行う。
- 第10条 (その他)
 本規約に定めのない事項については、第3条の趣旨に基づき、共同代表、事務局で協議の上、執行し、総会の承認を得る。
- 第11条 (発効)
 本規約は、2023年2月4日より発効する。

◎カーナビで行けるように、各場所の住所電話番号をまとめた。

- 山口地裁岩国支部
 〒741-0061 山口県岩国市錦見 1-16-45
 Tel:0827-41-0161
- 岩国市民文化会館
 〒740-0022 岩国市山手町 1丁目 15-3
 Tel:0827-24-1221
- 中国電力(株)上関原子力発電所
 準備事務所
 〒742-1403 熊毛郡上関町大字室津 288-13
 Tel:0820-62-1111

裁判のこと。

祝島島民の会の裁判(才2回)

山石国支部

2023年3月10日(金) 10時30分

伊方原発運転差止め裁判(19回)

山石国支部

2023年3月16日(木) 14時

④の森重晴雄さんの話のつづきです。

「今政府は福島の高濃度の汚染水を海に放出しようとしている。しかし、事故が倒壊したら再び高濃度に汚染される。そういうところに帰還政策をすすめるのは間違っている。」

2023年2月21日に宇部市で行われた森重晴雄さんの講演会の動画は、下記のQRコード、またはYouTubeで見れます。



<https://www.youtube.com/watch?y=2JJ7EtMXo&t=14s>

さらに1月30日に発生した高浜4号機の制御棒落下事故は高経年劣化の可能性が高いと発表(福島事故対策検討会「代表・森重晴雄」)くわしくは、下記QRコードから。

森重さんの講演会を東部でも是非やりたいと思います。





日 時	行 事	場 所	通 信 先 任 員
3月8日(水) 11:30~	朝鮮学校への補助金復活を 座り込み	山口県庁前広場	
3月10日(金) 10時~裁判 13時~報告集会	祝島島民の会の裁判	山口地裁岩国支部 報告集会:岩口市民文化会館	
3月11日(土) 14:30~	さようなら上岡原発・私たちは福島を 忘れない。黙祷とトーク集会	中国電力上岡事務所前	0820-55-6291 小中進
3月5日(日) 14:00~16:30	OLも。飯田哲也さん講演会 原発から再生可能エネルギーへ 泉田ケイ	福岡市弁護士会館ホール https://us06web.zoom.us/j/85926115960?pwd=M...DI1TExid09IelJnT21tNnVXazhodz09	福岡県弁護士会
3月5日(日) 14:00~17:00	OL・連続講座「憲法研究者と市民 運動家が安保3文書を読み解く」 ③防衛力整備計画 清水愛砂さん(立教大学大学院 教授)、杉原浩司さん(武器取引反対 ネットワーク[NAJAT]代表)	申し込み kenponet103@gmail.com	憲法ネット
3月12日(日) 13:00~15:00 http://jsa-fukuoka.sakura.ne.jp/index.htm	OL「ほんとにいいの? 原発再稼働・ 増設。これとどうなる? 地球温暖化 -3.11と地球温暖化」 伊藤久徳(気象学、九大名誉教授) 岡本良治(原子核物理学、九州工大 名誉教授)	申し込み 「3.12対話集会参加希望」として、メールを fukuoka@jsa-fukuoka.sakura.ne.jp	日本科学者会議(JSA)福岡支部
3月12日(日) 13:30~	原発いらい! 山口ネットワーク例会	周南市役所 北3階交流室6	小中進 0820-55-6291
3月18日(土) 9:00~14:00	上岡原発を建てさせない 山口大集会	山口市維新公園 ビッグアシェル	上岡原発を 建てさせない 山口県民連合会
3月16日	伊方原発 運転差止め裁判 19回	岩国支部	

3月5日(日) 映画「君たちはまだ長いトンネルの中
にいる」
徳山上映会 & スロシット-7
13:30~15:00
お2部スロシット-7
15:15~16:20
馬淵 澄夫・とくらたかこ

シネマ・ヌーベル
周南市銀座2-18毎日興行
銀座ビル
一般1000円
高校生無料

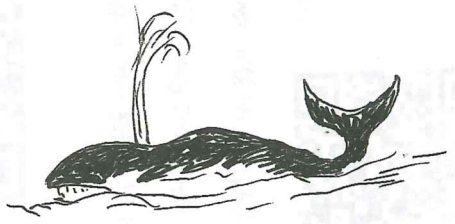
「君たち」上映徳山
実行委員会
立憲民主党

お問い合わせ: kimiton.tokuyama@gmail.com

海は誰のもの
12/10
太平洋に流す方針だ。ただ漁業関係者を含む周辺住民には理解がとろく、今も根強い反対がある。加えて、マーシャル諸島をはじめ太平洋諸島の人々が異議を唱えているという。

世界の核実験被害に詳しい明星大教授の竹峰誠一郎さんの講演をオンラインで聞き、教えてもらった。海を生活の糧にしている太平洋の島民たちには、海洋放出に関して、日本から

の連絡や相談はなかった。うだ。影響を受けるかもしれないのに、知らないうちで決めるのは、島民を軽んじていると言えよう。米自治領の北マリアナ諸島の議会は決定を非難する



潮流
論説主幹 宮崎智三
決議を採択した。オセアニア地域の協力機構「太平洋諸島フォーラム」は重大な懸念を表明。安全性について独立した専門家による検証を迫り、結果が出るまでは流さぬよう求めている。薄めるから安全だと東電側は説明する。しかし、その発想は前時代的だ。大気汚染や水質汚濁といった公害から得た教訓に反する。人体や環境に悪影響のある物質を出す際は、厳格規制が必要だと学んだはずだ。しかも、放出は事故原発を廃炉にしない限り続く予

定だ。廃炉はいつまでかかるとか、本当はできるのか、先は見えない。東日本大震災の津波で、東北からの漂流物は米国西海岸や太平洋の島々にも流れている。海はつながっているから、当然だろう。関係者の理解なしに、いかなる処分もしない。汚染水の問題で東電の社長は以前、そう述べていた。海は誰のものか。太平洋諸島の問いかけに向き合われないまま、東電と政府は社長の約束も海に流すつもりなのだろうか。

● 関連の新聞記事

- (1/18朝日)「原発で死亡事故はゼロ」上林生氏講演中に発言。2013年には高市市長も、批判噴出。
* 04年美浜原発で配管が破裂、5人死。JCO(99)事故は2人が死亡。11年福島の手帳では関連死は200人。

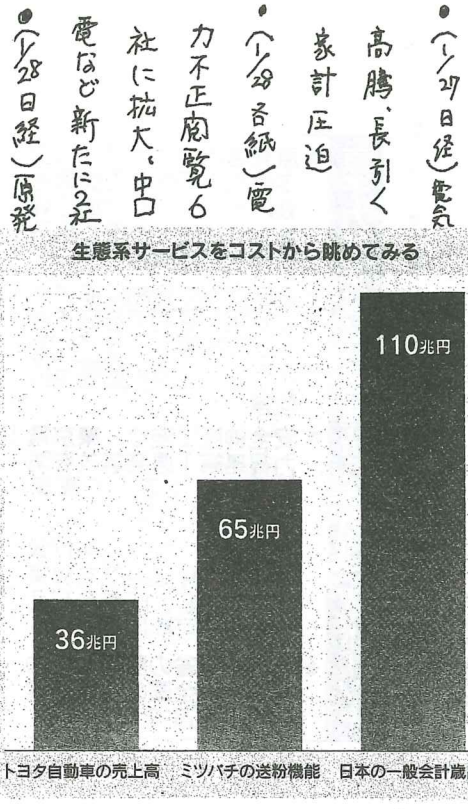
- (1/19朝日) 九電も顧客情報を不正閲覧
- (1/19各紙) 東電経営陣二審も無罪。津波子見性改めど否定。(日経) 強制起訴向われる役割。過去10件で有罪2件。「組織的罰求のる声」。

- (朝日) 見解不合理、容認できない判決。指定弁護士、上告を検討。(レコ中口) 木を見て森を見ない判決。添田厚史氏。
- (レコ中口) 四電も顧客情報不正閲覧。
- (1/25日経) 静岡の太陽光計画撤退、反対運動で。
- (1/25中口) 送電網整備へ支援強化。電気事業法改正案再エネ導入加速へ。

- (1/26朝日) 東海オニ、原発訴訟控訴者担当部が交代。裁判長がその側代理人をこのこととして、住民側の交代を求めた。
- (1/28朝日) 送電線使用料値上げを認可。月数10、数100円上げる見通し。

- (1/26中口) 原子力推進行政の面談内容公開へ。規制庁は昨年経産省と少なくとも計7回は面談したが記録が全く残っていなかった。規制と推進分離の原則に反すると市民団体のう指摘されて。
- (1/26朝日) 送電網に最大19兆円必要。20年まで、都市に再エネ融通。
- (1/26朝日) 国会代表質問、防衛、原発政策転換、国会での議論はいと野党。

- (1/27日経) 生物多様性と社会。「自然の恵み」は計算できない。

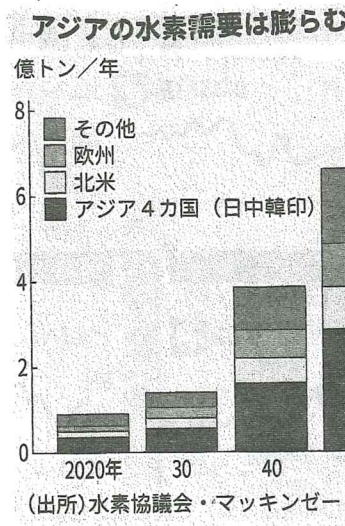


- (1/28日経) 原発
- (1/28朝日) 不正閲覧、関電で営業利用。一部は新電力から契約切り替え。
- (1/25中口) 東電旧経営陣、指定弁護士側が上告。

- (1/30日経) 原発建て替え「敷地内」政府GX基本方針で修正案。

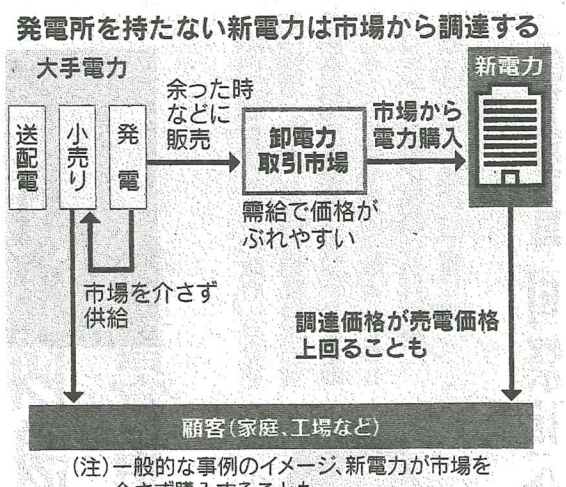
- (1/30日経) 洋上風力EPCに拡大。政府が法整備検討。
- (1/31日経) 電力情報漏洩、8社に拡大。沖縄、北陸の送配電部門も。

- (1/31日経) 核融合発電参入補助金で後押し。政府。
- (1/31中口) 関電不正閲覧4万件に。関子100人超。
- (1/31日経) 屋根で発電。高価の買取り、企業の工場や倉庫。経産省、太陽光の設置促進。
- (1/31日経) 水素消費アジアが最大に。04年需要、日中韓印で4割。



- (1/31日経) 高浜原発4号機が停止。4号機1985年運転開始。制御棒停つ部品電流低下。

- (1/31中口) 新電力エリア低下。中口地方48ポイント減の1割に。
- (2/1日経) 洋上風力発電、秋田港でも稼働。13基。
- (2/1中口) 土地規制、状況調査へ。権利不当制限の恐れも。
- (2/2中口) 電力9社の赤字/兆円超。
- (2/2日経) 太陽光パネル95%再生。熱分解装置を応用化へ。高純度抽出、CO₂出す。新見ソーラー。
- (2/2日経) 揚水発電維持、国が支援。経産省自然の高電池に投資促進。
- (2/3日経) 核のEMSA分基本方針改定へ。
- (2/4日経) 新電力の顧客情報漏洩。情報提供呼びかけ。電力監視システム。
- (2/4日経) 原発事故の除染業者半が半数。落札率9割超。
- (2/7日経) 新電力進む淘汰。再び大手寡占の懸念。企業シェア21年夏3割↓22年秋2割。



〈新聞記事のつづき〉

- (2/9日経)原発60年超運転承認を持ち越し。規制委、委員一人が反対改めて議論へ。
- (2/9日経)「原発活用」のより「明記。法改正案、脱炭素の回帰。

原子力基本法など関連法5本の改正案ポイント

- 原発活用による電力の安定供給の確保や脱炭素社会の実現、立地地域の課題解決に向けた取り組み推進は国の責務
- 運転期間の規制は原子力の安定的な利用を図る観点から措置し、原子炉等規制法から電気事業法に移管
- 安全神話に陥り、東京電力福島第1原発事故を防止できなかったことを真摯(しんし)に反省
- 安全規制への対応や行政指導の停止期間を計算から除外し、60年を超える運転が可能に
- 経済産業省の認可法人の業務に、全国の廃炉作業の統括を追加

●(2/11日経)「原発政策転換を(自派)決定。

●(2/14日経)多数決「原発60年超決定。規制委/人反対異例の対応、規制委委員「外からせり出された」と。

●(2/14日経)河野消費者相が異例の働き取り、電気代上げ幅抑制も。

●(2/16日経)「プロニオン、岸田政権の原発回帰、福島と再エネの未来」を語り、

●(2/16日経)高浜原発自動停止は別御座り駆動装置に不具合あり。

●(2/17日経)電力10社、4月料金上げ、都市ガス2社は下げ。

●(2/17日経)電力の不正閲覧大手10社。再生エネ企業の情報も。

●(2/17日経)再生エネ名目に基盤固めの自派で新議連。洋上風力に標準。総裁、副総裁どうい踏み。

●(2/18日経)電力不正閲覧大幅拡大。経産省、九電に立ち入り検査。中部電力37万3千、東電15万中口電力1万

●(2/18日経)原発見直しで口民の不安拭き指示。

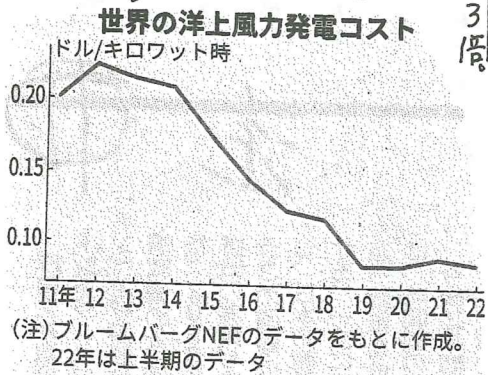
●(2/20日経)社説「原発60年超承認はつと」規制委原

●(2/20日経)日本の電力改革、英国に学ぶ。送電と配電の分離、送電会社の所有権分離。

●(2/20日経)国内洋上風力ようやく始動。人材や規模課題。コスト、世界標準下の3倍。

●(2/21日経)再エネの説明会。所を強調「国のパンフ国会を指摘。「原発の短所には触れろ」。

●(2/21日経)ユムガる農場整備。国交省後押し。港湾でCO₂吸収。「海洋植物の不祥」



●(2/21日経)電力情報漏洩で防止策議論。副総裁化求める意見。一監視委(経産省)

●(2/22日経)「国電は法令順守徹底を」経産省、不祥事多発で緊急指示。2019年に金品受領問題で業務改善命令を受けられている。

●(2/22日経)復興庁調査、福島2町、住民帰還意向、双葉14%、浪江22%に上昇。「戻らない」50%超。

地域の関連新聞記事

●(1/24)「Jブロッケット」岩国ら3ヶ所認定。

CO₂吸収藻場や干潟活用増、環境保全、脱炭素に期待。

●(1/27日経)島根原発、全停止11年、安全審査4件19人対

●(1/27日経)原発の稼働反対

●(1/28日経)伊方原発抗告審審尋が即日終結、広島高裁、3月24日決定。

●(1/31日経)顧客情報漏洩、中口電力も4000件不正。電取委、報告求める。

●(2/1日経)中電の通期赤字1740億円見通し。

●(2/1日経)洋上風力建設船、世界最大級のブルーワイド、UMT

●(2/3日経)核のごみ処分若口で説明会。13日、NUMOCと資源エネ庁。

●(2/4日経)新電力顧客情報不正閲覧、再発防止、中電に重い課題。経産省、原因報告求める。

●(2/6日経)支援する会結成協会、中電「祝島島民の会」提訴。



関西、東北、九州、四国、中部、中国	電力大手の顧客情報漏えい問題を巡る状況
情報漏えいが判明。電取委が報告求める	
北陸、沖縄	
電取委が事実関係を調査中	
東京、北海道	
電取委に問題なしと報告	

(地域) 東通新聞記事のつづき

- ・(2/7中口) 町長、財政支振と新え、経産相、上関原発は重要電源。
- ・(2/10日経、中口) 電気料金消費者の意見公聴会。
- 「中電値上げ、理解できない、カルテル問題 批判相次ぐ。」
- ・(2/11中口、日経) 中電不正閲覧3万3000件。全谷解明と説明不可。
- ・(2/14中口) 河野消費者担当相、電力値上げについて、中電など聴取、不正閲覧など対応を要求。
- ・(2/15中口) 河野氏中電影響調査要求、カルテル疑念など。
- ・(2/15中口) 原発交付金5億円、公民館、道路改修に使用、赤子境港市、鳥取県へ提案。

・(2/16中口) 中電、島根原発近くに造成藻場吸収のCO2取りへ。

・(2/17中口) 中国電、また不正閲覧、経産省システム大手会社に拡大。

・(2/17中口) 2、3号機稼働、歳入19億円増、島根県が試算。

・(2/18中口) 中口地方でも備之重要、島根大特任教授、トルコ大地震を解説、予測は必ずしも。

・(2/18中口) 中電不正閲覧1万件超、調査期間拡大、3.4倍に。

・(2/22中口) 統一選、周南と山口激選模様。

・(2/22中口) 「規制委反発」と島根県知事が苦言、原発60年超運転巡り。

・(2/22日) 中口電の不正閲覧問題、件数急増が映り「甘さ」。緩い解釈、設計に不備も。

7/20中口

原発60年超容認

独立性を堅持し、厳密な科学的見地に立つて検討を尽くした結果とはとても思えない。

原子力規制委員会は原発が60年を超えても運転できるよう制度を見直すことを承認した。

「原則40年、最長60年」という従来方針はそのままに、再稼働に向けた審査などで停止した期間を除外することで可能にする。計算方法を変えて実質的にルールを破ることになる。

原発政策の大転換である。にもかかわらず、議論もどこそこ「原発推進」の舵を切る岸田政権に追随するような対応はいかかなものか。規制委が重視してきた「政治からの独立性」を崩れていると思えない。

東京電力福島第一原発事故が

社説

2023・2・20

規制委 原点に立ち返れ

治日程を最優先したことで、原発推進のGX(グリーン)トランスフォーメーション(基本

方針を政府は10日に閣議決定、関連法案を国会提出した。規制委は8日の定例会合で結論を出せず、13日に臨時会合を開き、後追いの形で承認した。山中伸介委員長は「法案提出」というレッドラインは決められた締め切りで、やむを得ない」と釈明した。国民の安全より、政府方針を優先するような態度

せながら、20兆円を超すと見込まれる賠償額の多くは東電では賄えない。結局は国や国民が税金で穴埋めすることになる。高レベル放射性廃棄物への対応や最終処分地選定など重大な課題も解決は宙に浮いている。そんな負の側面が目ざとく、原発に固執する政府と歩調を合わせざる組織でいいのか。

委員5人のうち1人が反対しているのに、多数決で押し切ったことも異例で深刻だ。原発政策は国民の安全に重大な危険を及ぼす可能性があり、数の論理で決められるものでもない。意見が統一できるまでなせ議論を戻さなかつたのだらう。規制委が議論を始める前に、事故の全責任を東電一社に負わ

先号P⑥で紹介した全米海洋研究所協会(NAML)が発表した
福島第一原発からの汚染水海洋放出に反対する声明文の全文です。
(原子力資料情報室功、伴英幸さん訳)

全米海洋研究所協会*

ポジションペーパー** (仮訳)

日本が計画している 130 万トンを超える福島第一原発事故による放射能汚染水の太平洋への放出に科学的に反対する (2022 年 12 月)。

100 以上の研究所が加盟する全米海洋研究所協会 (NAML) は、日本が 2023 年から福島第一原子力発電所から 130 万トン以上の放射能汚染水を太平洋に放出する計画に反対します。この反対は、日本が主張する安全性を裏付ける十分かつ正確な科学的データが欠落しているに基づいています。さらに、放射性物質で汚染された水を放出することに対する深刻な懸念を示すデータも豊富にあります。

太平洋は、地球上で最も大きな連続した水域であり、世界の漁場の 70%を含む、生態学的、経済的、文化的に価値のある最大の生物量で構成されています。気候変動、資源の乱獲、汚染など、さまざまなストレス要因により、世界中の海洋生態系の健全性が低下していることが報告されています。

この汚染水の放出計画は、海洋生態系の健全性とそれに生命と生活を依存する人々にとって、国境を越え、世代を超えて懸念される問題です。私たちは、各タンクの放射性核種の内容に関する重要なデータがないこと、放射性核種を除去するための ALPS に関して、そして、汚染された排水の放出に際して“希釈が汚染の解決になる”という仮定に対して、懸念しています。

希釈という根本原理は、有機結合、生物濃縮、生物濃縮という生物学的プロセスの現実や、地域の海底堆積物への蓄積を無視しています。処理水中に含まれる放射性核種の多くは半減期が数十年から数百年に及び、その悪影響は DNA 損傷や例えばアサリ、牡蠣、カニ、ロブスター、エビ、魚など放射性物質を取り込んだ海洋生物を食べた人の発癌リスク上昇まで、広く及んでいます。さらに、ALPS が、汚染水に含まれる 60 種類以上の放射性核種 (その一部は、人間を含む生物の特定の組織、腺、臓器、代謝経路に親和性を持つ) をほぼ完全に除去できるかどうか、重要なデータがないため、依然として深刻な懸念が残っています。

東京電力と日本政府によって提供されたデータは不十分であり、部分的には不正確です。サンプリング方法、統計の取り方、サンプルの分析、仮定の置き方に欠陥があり、その結果、安全性の結論に欠陥が生じ、放出に代わるより良い代替方法を評価することができなくなっています。放射性廃棄物を安全に封じ込め、貯蔵し、処分するという問題に対処するためのあらゆるアプローチが十分には検討されておらず、海洋放出の代替案がより詳細に、広範な科学的厳密性をもって検討されるべきです。

NAML は、日本政府および国際原子力機関 (IAEA) の科学者たちに対し、太平洋諸島フォーラムの専門家パネルが推奨する選択肢をより完全かつ適切に検討することを求めます。私たちは、公共政策の決定、規制、行動は、環境と人間の健康に関する最新の科学的知見を活用して行う必要があると考えています。今回の場合、政策決定者は利用可能な科学を十分に活用しておらず、汚染水を太平洋に放出する最終決定を下す前に、そうすべきだと考えます。NAML のメンバーは、海洋を放射能汚染水やその他の汚染物質の投棄場所として使用することに対する懸念で一致しています。そのような行為は地球の長期的な健康や持続可能性に悪影響を及ぼす可能性があるからです。

私たちは日本政府に対し、決定された放射能汚染水の太平洋への放出計画を中止し、より広い科学コミュニティと協力して、海洋生物、人間の健康、そして生態学的、経済的、文化的に貴重な海洋資源に依存する人々の社会を守るため、放出以外の方法を追求するよう強く求めます。

2022 年 12 月 12 日、NAML 理事会で採択されました。

(仮訳者：伴英幸)

*<https://www.naml.org/>

**<https://www.naml.org/policy/documents/2022-12-12%20Position%20Paper.%20Release%20of%20Radioactively%20Contaminated%20Water%20into%20the%20Ocean.pdf>